

## 競技規定

赤字:USA Regionals/Nationals 2018大会からの変更・追加

### 1. 演技内容

- 演技内容は大会参加指針に沿って、適切であるかを見極めること
- 振り・演出・使用楽曲は、スポーツシーンに合った内容で行われ、演技はすべての観客のために適切かつエンターテインメント性に富んでなければならない  
下記の内容に該当する、構成や振付は禁止とする
  - 振り付けにおいて紛争や抗争をイメージさせる内容
  - 人を威嚇するジェスチャー
  - 不快感を与える演出やメイクアップ
  - 不適切な歌詞やスラングの入った楽曲
- 使用楽曲は事前に歌詞内容・訳詞内容が適切であるか確認をすること  
大会当日に大会運営側から使用楽曲の歌詞内容について確認要請があった場合には、その場で歌詞内容を確認できる資料(外国語の場合は、訳詞・原文の両方)を提出する必要がある
- 各編成で定められた、『AACCA安全規約』『難度規定』の内容に適した演技構成とすること

	中学校編成	高校編成	大学編成
AACCA 安全規約	AACCA 中高校チーム安全規約		AACCA 大学チーム安全規約
難度規定	中学編成 難度規定	高校編成 難度規定	

- 手具・小道具は、フラッグ、バナー、ポンポン、メガホン、サインとなるもの(サインボード等)のみ使用可  
※手具・小道具を衣装の一部やアクセサリとして身に付けることは禁止
- 演技時間は、1分45秒以上 2分30秒以内 とする  
※演技時間オーバーによる減点を避けるため、コールパートを含め演技時間には余裕をもつこと
- 音楽使用可能時間は以下の通り
  - ◆中学校編成 / 高校編成 : 1分30秒以内
  - ◆大学編成 : 1分45秒以内

【Show Cheerleading部門 音源に関する注意事項】

2曲に分けて収録する際は以下の内容に従って音源を作成してください。

注1) 1曲目に使用する音源はトラック1へ、2曲目はトラック2へ収録してください。

※1曲目に使用する音源をトラック2に収録した場合、トラック2が終了すると音楽デッキが一度停止します。

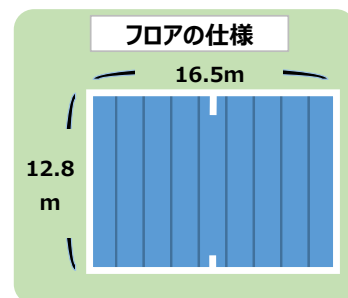
再度CDを読み込むのには時間がかかる為、トラック1に収録した2曲目がすぐに流れない可能性があります。

注2) 1曲目の最後に10秒ほど空白を入れて収録してください。(2曲目がすぐに流れるのを防ぐため)

- 選手の安全確保の観点から、大会運営側で競技スポッターを配置する  
ただし競技スポッターはセーフティールール上必須のスポッターとはみなされない

### 2. 演技フロア

- 奥行12.8m(42フィート)×幅16.5m(54フィート)のチアマット上となる  
(フロア内の前後にセンターの印あり)
- 演技に無関係なアイテムの演技フロアへの持ち込みは禁止  
【例】チームのぬいぐるみ、手具として使用しない小道具など
- メンバー全員で演技フロアに入場し、演技中の出入りは禁止
- 演技者以外のフロアへの立ち入り及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止  
【例】演技者以外の手具・大道具の設置補助や選手への指示出しなど



### 3. 演技時間・計測方法・入退場について

- 演技時間は、1.演技内容-6)を参照
- 計測方法は、音楽または動作の開始をもって開始し、音楽・動作の両方の完了をもって終了とする
- チーム名が読み上げられたら、すぐにメンバー全員でフロアに入場し、退場も速やかに行うこと

#### 4. 衣装・身だしなみ

- 1) 年齢に相応で全ての観客に対し適切な衣装とメイクを心がけること
- 2) 学校応援に適したユニフォームを着用
- 3) **中学校・高校チーム**は、直立(腕を下ろした)姿勢で腹部まで覆われた衣装を着用すること  
出場部門(全競技部門、審査対象外部部門も含む)に関わらず、このルールは適用される(大学チーム以外)
- 4) ユニフォームにアクセサリやユニフォーム以外の衣類を着用するのは禁止

※その他の衣装・身だしなみに関しては中学・高校は「AACCA 中高校チーム安全規約 一般ガイドライン」、  
大学は「AACCA 大学チーム安全規約 一般ガイドライン・禁止事項」参照

#### 5. 演技順の変更・演技の中断について

※演技順の変更…大会当日、演技開始前に演技順を変更すること  
※演技の中断 …「演技の開始」(音楽、または動作の開始)後に演技が止まること

① 主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した場合、演技順の変更および演技を中断する権利を持っている

② 演技順の変更・演技の中断は原因によりそれぞれ下記の扱いとする。**すべての判断は主催者が行う**

##### 1) 不測の事態及び傷病によるトラブル

音響機材や施設の不備等、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブル

- a. 予定時間に演技が開始できなかった場合…チームは演技順の変更の申請が可能
- b. 演技が中断した、または妨げられた場合…チームは再演技の申請が可能  
再演技は予定の内容を1曲通して行うこと。ただし審査は主催者によって決定された  
演技中断以降の部分のみが対象となる。演技中断前の審査内容はすべて反映される  
原則、演技は開始からすべてのスキルを実施しなくてはならないが、すべてのスキルが行えなかった場合、  
そのチームの得点をどのように取り扱うかについては主催者によって決定される

##### 2) チームの責任によるトラブル

道具・衣装・音源の不備やチームの責任によるトラブル

- a. 予定時間に演技が開始できなかった場合…棄権、もしくは**減点が課せられた上で**チームは  
演技順の変更の申請が可能
- b. 演技が中断した、または妨げられた場合…棄権、もしくは**減点が課せられた上で**チームは再演技の申請が可能  
再演技の審査は1度審査した内容は破棄され、改めて1曲通しての審査となる

③ チーム代表者(音響担当者)は演技中に続行が不可能と判断した場合、音響席にある旗を揚げることで  
演技を中断する事ができるが、この場合は棄権とみなす。(ただし主催者の判断によりこの限りではない)

④ 全ての審査が完了しない場合(得点算出不可)は審査対象外となる